かんわケアPress
2018年12月 vol.27
たたらリハビリテーション病院 緩和ケア病棟 広報誌

日本医療機能評価機構 認定病院
ISO 9001 BUREAU VERITAS Certification
日本緩和医療学会認定研修施設
在宅療養支援病院
発行:たたらリハビリテーション病院 緩和ケア病棟
〒813-0031 福岡市東区八田1-4-66
tel:(092)691-5508(代表)
http://www.tatara-reha.jp

## 2018年4月より病棟師長が交代しました

2018年度前任の徳田師長より緩和ケア病棟を引き継ぐことになりました城戸です。こちらで働く前は、同じ系列病院である千鳥橋病院救急センターで勤務をしていました。救急センターの頃はその方の命を最優先に機敏に動かなければならないことが多く、毎日忙しい時間が流れていましたが、緩和ケア病棟では患者さん・ご家族の思いに寄り添いながら、その方らしい生き方ができるよう時間をかけて他職種で関わる時間を大切にしています。医師やリハビリテーション療法士、ソーシャルワーカー、時には音楽療法士や薬剤師・栄養士を交え、日々検討しながら過ごす日々が看護の原点に戻ったようでとてもやりがいを感じています。

これから緩和ケアについてまだまだ学ばせていただくことがたくさんありますが、もう少し慣れてきたらプライベートでも子どもたちと一緒に色んなことにチャレンジして、皆さんと趣味についてたくさんお話ししていきたいなと思います。これからもよろしくお願いします。

{ 新師長 / 城戸 由美 }

## 緩和ケアの在宅医療をはじめました

### 入院・外来・在宅の一貫した医療の提供

当院は、2016年10月より在宅療養支援病院となり、緩和ケアでも在宅医療を開始しました。緩和ケア病棟を退院した後も、同じ主治医が外来や在宅医療を行うことにより、患者さんやご家族に安心感をもたらします。在宅医療を開始したことにより、自宅へ帰る在宅復帰率は26.1%に増加しています。

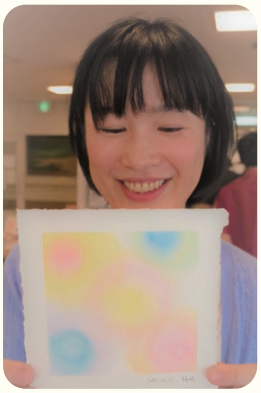
瀧田麻佳 医師、龍頭祐代 看護師

# 「ホスピス緩和ケア週間」イベントを行いました！

2018年10月7日から13日は「ホスピス緩和ケア週間」でした。当院でも、10月11日、緩和ケアについて、多くの方に知っていただくために「ディスクオルゴール鑑賞」と「パステルシャインアート体験会」を開催しました。

会場となった2階の食堂談話室ホールの光が差し込むテーブルに、緩和ケアについてのパンフレットやおすすめの書籍を準備し、自由にご覧いただけるようにしました。

## パステルシャインアート体験会



好きな色のパステルを粉にしてコットンで伸ばし、グラデーションで優しい丸い光の絵を描きます。誰でも簡単に思い思いの絵ができて、描いても観てもリラックス&ヒーリング効果のあるアートです。

## ディスクオルゴール鑑賞会

オルゴールの共鳴箱の下にブナ材の平床寝台と総銅製の硬枕を設置し、寝転がれるようにしました。CDにはないオルゴールの音の響きを全身で体感していただきました。ディスクオルゴールは、まるで音のシャワーを全身に浴びているかのようで、ダイナミックな音と響きが楽しめます。

千鳥橋病院からの研修医の先生も約40分間体験し、心身ともにリラックスされました。オルゴールの響きと音が一体となり、すっかり熟睡していたそうです。日頃の疲れが癒され、満面の笑みでした。

**オルゴールの曲目**

「カノン」・「愛の夢」
「月の光」・「虹の彼方に」
「ふるさと」を
聴いていただきました。

## 参加された皆さんの声

部屋に広がるオルゴールの音と、オルゴールの台の中に入って聴く音の違いが体験できて面白かった。初めての体験で、体で音を感じた。
（30代職員）

色使いを考えたり、濃淡を考えたり、楽しくて無心になれる時間でした。
（50代ご家族）

みんな夢中になって描くことが純粋に楽しかった。それぞれのカラーとデザインがかわいかった。
（30代職員）

オルゴールの下に寝る！こんな体験はなかなかできないのでとても楽しかったです。
（50代ご家族）